

# タイヤ

TIRE

## 履き替え

### 最前線

2026年夏タイヤの動向を主要製品から探る！

購入前に知っておきたい  
**5つの  
キーワード**

#### 季節特集

物価高や電動化の進展など、市場環境が大きく変化するなかで迎える2026年の夏タイヤ商戦。単なる消耗品ではなく、性能や価値観で選ぶ時代へと突入している。まずは購入前に押さえておきたい5つのキーワードを整理し、その上で主要製品の今を見る本編へと進もう。

まとめ：石川大輔 写真：前田恵介



#### CHECK 1 SUV市場の拡大

運転のしやすさや広い室内、多用途性を背景にSUV人気は加速。日本国内の新車販売に占める割合は約4割に達する。背が高く車重もかさむSUVは、コーナリング時のふらつき抑制や高い荷重への対応が不可欠。剛性を高めた専用設計や耐摩耗性能の強化など、SUV特化型タイヤの存在感が一段と増している。

#### CHECK 2 EV車への対応

電動車の普及に伴い、タイヤにも新たな性能が求められる。バッテリー搭載による重量増と高トルク特性に耐える構造、航続距離に直結する低転がり抵抗、そしてモーター音が静かなEVだからこそ重要となる静粛性。これらを高次元で両立するEV対応モデルが各社から拡充されている。

#### CHECK 3 安心・安全

異常気象による突発的な豪雨や路面温度の上昇など、走行環境は年々シビアに。ウェット性能や耐ハイドロブレーキング性能の強化は引き続き重要テーマだ。加えて、摩耗が進んでも性能低下を抑える設計や、空気圧異常に配慮した構造など、安全マージンを重視した商品開発が進んでいる。

#### CHECK 4 価値観の多様化

タイヤ選びは「とにかく安く」から「用途や好みに合わせて」へ。スポーツ性能重視、快適性優先、ロングライフ志向など、ユーザーのニーズは細分化している。見た目のデザインやブランドストーリーを重視する層も増加。価格だけでは測れない「納得感」が購買動機を左右する時代だ。

#### CHECK 5 サステナブル

環境配慮はタイヤ業界でも避けて通れないテーマ。再生可能資源の活用や製造時のCO<sub>2</sub>削減、長寿命化による廃棄本数の抑制など、各メーカーが取り組みを加速させている。低燃費性能の向上も間接的な環境負荷低減につながる要素。サステナビリティは今後、商品選択の重要基準となりそうだ。